

(補足資料) 伏見区まちづくり運営方針

① 地域の「絆」で互いに支え合い、誰もが安心安全に住み続けられるまち

- ・ 社会構造が変化し、孤立化が課題となる現代において、「京都市地域コミュニティと市民参加に関するビジョン」に基づいた、顔の見える関係づくりを進めます。
- ・ 自治会活動やボランティア、多文化共生などのネットワークを強化し、災害時には助け合い、平時には見守り合える「包摂型（ほうせつがた）のコミュニティ」を構築します。
- ・ 誰もが取り残されることなく、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられる基盤を整えます。

② 地域ぐるみで子ども・若者の健やかな成長を育み、全ての世代が生きがいを持って健康に暮らせるまち

- ・ 「京都市はぐくみプラン<2025-2029>」と連動し、子どもや若者を社会の真ん中で大切に作るまちづくりを進めます。
- ・ 家庭・学校・地域が連携し、若者が将来に希望を持てる教育環境や居場所を確保するとともに、全ての世代が生涯にわたって心身ともに健やかに過ごせるよう、健康増進やスポーツ推進、食育を支援します。
- ・ 次世代が伏見の未来を担う一員として成長できる環境を、地域一丸となって創り上げます。

③ 伏見で紡がれた歴史、文化、産業を互いに学び合うとともに、豊かな自然を守り、地域の魅力を再発見し、これらを次世代へ継承していくまち

- ・ 伏見は、伏見城の築城や水運の発展、酒造文化の隆盛など、日本の歴史を動かす舞台となってきました。また、深草地域には、稻荷山をはじめとする豊かな自然環境、近代の文化遺産や教育機関の知が息づいており、醍醐地域は、古くから京都・奈良・近江を結ぶ交通の要衝として栄えたほか、世界文化遺産である醍醐寺をはじめ歴史と文化が深く根付く地域です。
- ・ これらの有形・無形の資産を単なる知識として保存するだけでなく、生涯学習や学校教育を通じて、現代の視点から学び直す機会を創出します。
- ・ また、「京都基本構想」が掲げる文化の創造性を活かし、伝統を現代のライフスタイルに融合させながら、伏見のアイデンティティを次世代へと確実につないでいきます。
- ・ 幅広い世代が共に学び合い、交流し、活躍できる機会を創出することで、大切に育み、紡いできた文化や産業を次世代へ継承するとともに、京都への愛着を醸成し、伏見に住み続けたい、また訪れたいと思っただけのよう取組を進めます。

④ 伏見が長年にわたり継承してきた、ものづくりや食、商業、観光等の産業を基盤とした、新たな価値の創出による経済・産業・観光振興のまち

- ・ 伏見が誇る「酒造り」や「伝統工芸」、そして「商店街の活力」や「食文化」を経済のエンジンとして再定義します。
- ・ 「新京都戦略」の視点を取り入れ、伝統的な産業にスタートアップのアイデアやデジタル技術を掛け合わせることで、新たな付加価値やビジネスチャンスを創出します。
- ・ 観光面でも、地域の暮らしと調和した質の高い観光体験を提供し、持続可能な経済循環を生み出すまちを目指します。